

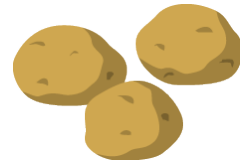


学校だより

令和元年7月2日
発行 校長 佐藤昌俊

自然の恵みと仲間感謝 農園活動 ジャがいも収穫

1年生が6月26日(火)に武山の農園にじゃがいもの収穫に行ってきました。梅雨の晴れ間にあたり、天候もよく絶好の収穫日和となりました。



学校からは3班を1グループとして横須賀中央から路線バスに乗ってバス停「竹川」を目指します。一気に大勢で乗り込みますので、生徒たちは一般の方の迷惑にならないよう乗車中も静かに過ごしていました。バス停からはひたすら上り坂を登っていきます。住宅地を通り山道に差し掛かると、うぐいすの音が聞こえてきます。「あっ、うぐいすだ」と生徒たちも横須賀中央ではなかなか聞くことのできない野鳥のさえずりに自然と耳を傾けていました。

農園に着くと、松岡先生から収穫の仕方や注意事項を聞いてからいよいよ作業です。天気が良い分、気温も上昇してきて、「熱中症」に注意し、適宜水分を取りながら活動します。



まずは畑に生えた雑草を取り除き、スコップで畝を掘り上げるようにして土の中からじゃがいもを取り出します。「大きいじゃがいもが取れた！」という声があがる一方で、「あっ、腐っている」「なんだかチーズみたい」という声もありました。6月も最終週、次期的に1週間から10日ほど収穫が遅かったようです。残念。本年度は定期テストの時期など、年間を通して教育課程を見直しましたので、種イモの植え付けと収穫との期間に課題が残りました。次

年度に向け、見直しを行います。

それでも収穫したじゃがいもを早速アルミ箔に包んで直火焼きに挑戦です。「おやじの会」の方から提供していただいた木片を燃料にして火を起こしました。担当の生徒は煙のとの格闘です。焼きあがったじゃがいもにマーガリンやお塩をつけておいしくいただきました。汗を流し、仲間と協力して収穫し、調理したじゃがいもは、格別のようなものでした。自然の恵みに感謝です。

昼食後は、武山不動尊を経由して、三浦富士を通過して、京急津久井浜駅まで、ハイキングです。相模湾や東京湾を見渡せる風景、途中開けたところから見える里山の風景、木々からの零れ日や山のおいを体感しながら、山道を励まし合って登り、降りしてきました。

「すごーい。幻想的だ。」「きれい！」子どもの素直な感性に、元気をもらい、58歳の私も生徒に負けないよう歩いてきました。途中、心配になった？生徒から「校長先生！大丈夫ですかー。」の声に励まされながら……。